



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは
こうへい
山田耕平
です

2023.11.2 No.495

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

右QRコードを

ご活用下さい



杉並区議会第3回定例会閉会

高過ぎる国保料 区の努力で値上げ抑制を

杉並区の税と社会保険料の負担について (2023年度)

年収 400 万円 ・ 4 人世帯 (40 歳夫婦 と 子ども 2 人)											
2010年度 (H22)	所得税 19,400	+	住民税 52,700	+	国民健康保険料 246,313	+	年金保険料 362,400	+	消費税(5%) 106,000	=	合計 786,813円 <small>(消費税以外 680,813円)</small>
13年間の増減	↓ +30,400		+54,800		+301,194		+34,080		+106,000	↓	+526,474 (420,474)
2023年度 (R05)	所得税 49,800 <small>(2.57倍)</small>	+	住民税 107,500 <small>(2.04倍)</small>	+	国民健康保険料 547,507 <small>(2.22倍)</small>	+	年金保険料 396,480 <small>(1.09倍)</small>	+	消費税(10%) 212,000 <small>(2.00倍)</small>	=	合計 1,313,287円 <small>(消費税以外 1,101,287円)</small>

13年間で **52万0,813円** の負担増!! (1.67倍)
負担は年収の約 1/5 から 1/3 へ増加 (19.7%⇒32.8%)

区も認めています。

さらに、国は国保改革

この世帯の 2010 年

10月16日、杉並区議会第3回定例会が閉会しました。党区議団は高過ぎる国民健康保険料の引き下げに向けて、論戦に取り組んでいます。

国・都の大幅な財政削減 保険料値上げの要因は

国保会計歳入総額に対する国庫支出金、都支出金比率

年度	国庫支出金比率	都支出金比率
1975年度	55.32%	23.95%
2017年度	18.97%	5.76%

法定外繰入継続し負担軽減を

岸本区長は質問に対し「特別区長会から、保険者に対するさらなる財政支援や被保険者の負担軽減策の拡充などを要望している」と答弁しました。

党区議団の国保料アンケート に寄せられた声

- あらゆる物価が高くなり支出が負担になっている。国保料の値上がりも負担である。
- 退職し、協会けんぽから移行した。国保料が高く将来への不安を覚えた。
- 映画、演劇等文化費への支出が少なく、ゆとりがなくなっている。
- 年金から国民健康保険料が差し引かれて年金額が減って、物価の値上がりもあり、食費、医療費を切り詰めています。

来年度の保険料を検討するにあたって、国・都に対し、財政負担の強化を求める必要があります。

物価高騰が深刻化している今こそ 公営住宅の拡大、家賃助成制度の早期実施を

■杉並区と23区に借家世帯等の比率

	杉並区	23区
住宅総数に占める民間借家の割合	50.1%	43.5%
借家数に占める公営借家の割合	2.2%	6.3%

岸本区政のもとで来年度からの家賃助成制度創設に向けた準備が進められています。第3回定例会で、公営住宅の拡大、家賃助成制度の早期実施を求めました。

高い家賃に苦しむ声が多数 切実な要望を踏まえた対策を

杉並区は、23区のなかでも借家世帯が多く、その大半が民間借家で、公営住宅が少ないことも特徴です(左表)。党区議団が実施したアンケートには「家賃の支払いが大変」「公営住宅に入れない。物価高騰が家計を直撃し、家賃の工面に苦勞している」などの声が多数寄せられています。

こうした区民の切実な声を正面から受け止め

① 公営住宅戸数の拡大

② 民間賃貸住宅入居者への家賃助成の実施

この二つの柱を住宅施策に取り組みことを求めました。

区は「区民の生活実態の把握や様々な声を真摯に受け止め、必要な施策を検討していかなければならない。公営住宅の提供や家賃助成の検討など、住宅施策を着実に推進していく」との認識を示しました。

物価高騰対策としても

家賃助成制度は物価高騰が深刻化する今こそ、速やかな実施が求められます。

今年度中の実施を求めたところ、区は「規模や助成期間、金額、対象など様々な課題があり、検討には一定の期間が必要」と答弁しました。

区議団ニュースを発行します

この間の区議団の活動を紹介した区議団ニュースを発行します。11月上旬から配布予定です。

日本共産党杉並区議団 ニュース No.426 (2023年第3回定例会別冊) 2023年11月号

学校給食費無償化 杉並区でもスタート
物価高騰のなか、保護者の負担軽減へ

区内事業者への電気・ガス代支援 始まる
党区議団の選挙公約の実現へ

日本共産党杉並区議団 代表 藤原 隆
副代表 山本 浩一
書記 山本 浩一
副書記 山本 浩一
事務局長 山本 浩一
副事務局長 山本 浩一
連絡先: 03-3312-9912

岸本区政スタートから1年余 前区政の問題を改善し、多くの問題が変化を遂げる

党区議団の積極提案が次々と実現 区政が動く!!

- ジェンダー平等、人権尊重の杉並区へ
- 児童福祉の充実
- 高齢者の生活支援
- 子育て支援の充実
- 防災対策の強化
- 環境対策の推進
- 教育施策の充実
- 交通安全対策の強化
- 都市計画の推進
- 観光振興の推進
- 防災対策の強化
- 環境対策の推進
- 教育施策の充実
- 交通安全対策の強化
- 都市計画の推進
- 観光振興の推進

「杉並区総合計画」等の改定案ご意見をお寄せください

総合計画等の改定案が示されました。区長公約において示された取り組みの実現、区民参画に基づく対話協調型区政の更なる推進に向けた計画案となります。区立施設再編整備計画も大幅見直しとなりました。ぜひ、ご意見をお寄せください。

改定案は区ホームページ、企画課(区役所東棟4階)、情報管理課(区役所東棟7階)、区政資料室(区役所西棟2階)、各区民事務所、各図書館等でご覧になれます。

【意見提出期間】

10月31日(火)～12月4日(月)まで

【提出方法】

ご意見は次のいずれかの方法でお寄せください。

区ホームページ「パブリックコメント入力フォーム」に入力してください。
意見用紙、はがき、封書、FAXまたはEメールに必要事項を記入し、上記の閲覧場所へ直接提出または企画課まで。

住所: 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
FAX: 03-3312-9912, Email: kikaku-k@city.suginami.lg.jp へ提出ください。
ご意見には、氏名・住所をお書きください。ご意見の全文公表を望まれない方は、その旨をお書きください。

おやじの会でわたあめ

プラザ善福寺(旧善福寺児童館)のおまつりが行なわれ、おやじの会もスタッフとして参加しました。綿密な準備の結果、400食近いわたあめを、行列を作ることなく提供し続けることに成功しました。やりきった!



わたあめおやじ笑

今週の1コマ